



### 情報開示特集(保育・高齢者・障がい)

令和5(2023)年度 研修報告/地域貢献活動報告/事業報告/決算報告  
令和6(2024)年度 研修計画/事業計画/資金収支予算(4~10面掲載)

#### 巻頭言

初代理事長の「女性の力になりたい」の想いを継承し70年余、政府の「女性版骨太の方針」を念頭に、今、まさに女性支援へ努力を傾注するとき — 2

“能登半島地震”被災者支援活動に出動 成光苑スタッフ15名 — 3

「はにわキッチン@けやきの郷」(子ども食堂)再開 高槻けやきの郷 — 3

法人間交流 地域貢献の重要性を再確認 徳島・池田博愛会来訪 — 3

子どもの人格形成に童謡や音楽の伝承を 愛育園合同研修会 — 4

先輩からのメッセージ — 4~5

竹下花菜さん(認定子ども園千里丘愛育園)/真下礼羽さん(ライフ・ステージ 舞夢)

進路相談の一助に 高校で『高齢者福祉』講義 せつつ桜苑 — 5

世代間交流 折り紙作って「にぎにぎの会」 認定子ども園きりん愛育園 — 6

「Bee福(ビーフク)連携」ブランド牛精肉など特設販売 岩戸ホーム — 7

苗植え・種まき、収穫の知らせ続々 かがやき農園プロジェクト — 11

自治会発足「ゆめさきドリーム」 ライフ・ステージ 夢咲 — 11

トピックス — 12



社会福祉法人 成光苑

2024  
夏号

## 「大人の塗り絵コンクール」入賞 福井さん(デイサービスご利用者)と田崎ケアスタッフ

岩戸ホームすずらんホール(地域交流スペース)で5月21日、「第4回明治安田生命大人の塗り絵コンクール」に入賞された同デイサービスご利用者の福井則雄さん(コンクール部門)と田崎直子ケアスタッフ(エンジョイ部門)の表彰式が行われ、明治安田生命保険相互会社京都支社福知山営業所長の井手正直氏から賞状、入賞作品のフレームなどが授与されました。福井さんは、同じ岩戸ホームご入居者(特養)でもある奥様(静枝さん)と一緒に表彰式に出席され(写真)「次回は優勝を目指します」と意気込まれ、田崎ケアスタッフは「今後もご利用者の生きがいを創出できる支援を目指したい」と述べられました。

大人の塗り絵は“アートセラピー”とも呼ばれ、塗り絵に集中することでストレス解消や呼吸が規則的になり自律神経を整える効果もあるといわれています。



## 「走るデパ地下」がやってきた! 有名スイーツにご満悦のご入居者

高槻けやきの郷(サービス付き高齢者向け住宅48戸)に4月4日、阪急百貨店のスイーツの移動販売車「走るデパ地下」がやって来ました。

車両の特設陳列棚には、同百貨店で人気の「ねりん屋(バームクーヘン)」、「とらや(羊羹)」などの洋和菓子が数十種類並べられ、カラフルなパッケージも購買意欲をそそります。初めて見るお菓子や有名スイーツに入居者から「見とるだけでも楽しいな」といった声も。一度戻ってまた買い求められるご入居者の姿もみられ、ちょっと贅沢なお買い物にみなさんご満悦でした。



## 子どものホーム転落を防ごう “スキマモリ君”登場!

東生野愛育園では6月12日、生野警察署員(2名)とJR鶴橋駅員(6名)が来園、4、5歳児クラスを対象に交通安全教室が行われました。

警察署員は、交通標識や信号機の色や並び方クイズで関心を高め、疑似信号機を使って横断歩道の渡り方も実践指導。

JR駅員は「こども隙間転落防止プロジェクト」(\*)で“スキマモリ”というキャラクターを軸に、子どもの世界に寄り添った内容で転落防止を促す子ども向けの啓発活動が目的。近年、列車とホームの隙間に転落する子どもの割合が高いことが背景にある。JR駅員さんは紙芝居を披露しながら説明(写真)。(デジタル絵本も配信中)「#スキマモリ」スキマモリの登場シーンでは「おもしろい!」といった感想も子どもたちから聞かれ、ホームでの危険に意識を持つきっかけになったようです。



(\*)こども隙間転落防止プロジェクト 保護者や子ども自身に隙間転落への危険性を意識してもらうため、JR西日本大阪支社は大阪市立デザイン教育研究所、大阪公立大学橋本研究室と共同で推進中。東急電鉄、京王電鉄などが趣旨に賛同し参画

### 【法人理念】

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

### 【サービス目標】

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

### 【愛育園経営方針】

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

### 【高齢者施設経営方針】

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。

### 【障がい施設経営方針】

1. その人らしく健やかにともに暮らし、希望をもって社会参加できる環境を提供する。
2. 地域の中で個々のニーズに合った専門性の高い総合的なサービスを提供する。
3. 地域にあって良かったと誰もが笑顔で過ごせる、信頼される施設運営を目指す。

【発行日】2024年7月

【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)  
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7  
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551  
URL. <https://swc-seikouen.or.jp/>

★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

QRコードで簡単アクセス!



巻頭言



初代理事長の「女性の力になりたい」の想いを継承し70年余、政府の「女性版骨太の方針」を念頭に、今、まさに女性支援へ努力を傾注するとき

理事長 高岡 國士

日ごろから社会福祉法人成光苑の事業推進にあたり、皆様の多大のご協力とお力添えいただき感謝とお礼申し上げます。

元日に発生した能登半島地震で被災された方々、ご家族関係者、いまだに厳しい環境での暮らしを余儀なくされている方々に改めてお見舞い申し上げます。

地域の女性リーダーを育成、防災・復興の担い手に

避難所などでの女性被災者への配慮が不十分とのニュース・報道でもあるように、災害時は女性や子どもがより多くの影響を受けるとい認識のもと、政府は地方自治体の防災・危機管理担当部局へ女性職員を配置するよう促しているところ。

こうした女性被災者への支援に共感できることがあります。法人の発祥の地、千里丘（大阪府摂津市）には戦地からの引揚者の寮がありました。成光苑の初代理事長、私の母ですが、その寮に住んでいる母子を支援するのが目的で、昭和23年に千里丘保育所（昭和25年認可）を開設しました。戦後の困難な生活の中で、女性も働かなければ生きていけない現状を目の当たりにした初代理事長の「そんな女性の力になりました」という熱い思いが開設の動機でした。

昭和46年、私は二代目理事長に就任しましたが、当初の想いは70年以上が経過した今も継承し、「女性の育児と就労の両立支援」を保育部門愛育園の経営方針として掲げています。

政府は6月11日、「女性活躍・男女共同参画の重点方針2024」（女性版骨太の方針2024）を決定しました。その具体策の中には、育児や介護、女性特有の健康問題と仕事の両立支援、地域の女性リーダーや担い手の育成、能登半島地震を踏まえた男女共同参画の視点に立った防災・復興など、今、まさに取り組むべき施策が盛り込まれています。今後、「女性版骨太の方針」を念頭に努力を傾注していきたいと考えています。

外国人材受け入れを巡る「育成就労制度」で気がかりな転籍（転職）問題は社会福祉分野に特例措置を

法人経営を進めていく上で私の一番の気がかりは、やはり人材確保であります。現在は、高齢・障がい部門を中心に、技能実習制度による外国人材を受け入れる比率が増してきております。直近の動きでは、これまでの外国人技能実習制度に代わって、育成就労制度の創設を柱とする改正法が6月14日、参議院本会議で可決、成立しました。概ね2・3年後の令和9年までに法施行される予定となっております。

育成就労制度の目的は人材確保と育成で、原則3年の在留期間で最長5年働ける特定技能1号の水準までの育成を目指すこととしているようです。気になる点は、同じ職場で1〜2年働ける点です。これまでの技能実習制度では、少なくとも3年間は安定的に就労してもらえ、利点がありました。今後、高齢・障がいを持つ方々への対人福祉サービスの担い手として、社会福祉分野における特例的な措置をお願いしたいと考えているところがあります。いずれにしても、日本人、外国人を問わず、法人（施設）として必要な人材を確保し、懇切丁寧な育成しながら、定着を図る努力を着実に継続していくことが重要と考えます。

成光苑は社会福祉法人の本旨に則り、福祉サービスの供給確保の中心的役割を果たすだけでなく、既存の制度の対象とならないサービスの提供、つまり地域の公益的な取り組みを継続していくことが重要との認識のもと、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行いながら、地域福祉の拠点として、10年後も地域の住民から一番頼りにされる社会資源になるために、地域に信頼され、愛される園・施設の運営に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

能登半島地震

支援活動に出動

DWATメンバー5名含む 計15名の成光苑スタッフ

要支援者の把握、要配慮者の課題分析、テント生活の要介護者の介助

能登半島地震から7カ月、全国から被災者支援の手が差しのべられてきましたが、成光苑高齢者・障がい部門でも2月から京都・大阪エリアのDWAT（\*1）の一員5名を含む計15名のスタッフが被災者支援活動を行いました。



把握に從事。高齢者施設では「私らちや、(自衛隊)ヘリコプターでここへ避難して来たげ(輪島弁)と何気なく交わされる会話が痛みました。苦労を思い心が痛みました。15次避難所の「いしかわ総合スポーツセンター」のサブアリーナでは約80テントで避難生活されている要介護度高めの高齢者の介助(食事・排泄・入浴)や相談活動を行いました(写真)。

把握に從事。高齢者施設では「私らちや、(自衛隊)ヘリコプターでここへ避難して来たげ(輪島弁)と何気なく交わされる会話が痛みました。苦労を思い心が痛みました。15次避難所の「いしかわ総合スポーツセンター」のサブアリーナでは約80テントで避難生活されている要介護度高めの高齢者の介助(食事・排泄・入浴)や相談活動を行いました(写真)。

コロナ禍以降、滞っていた法人施設間交流が動き出しました。徳島県三好市の社会福祉法人池田博愛会の中村忠久理事長らが4月18、19日の2日間の日程で成光苑京都北部の岩戸ホームなど3施設を訪問され、高岡國士理事長と懇談されたほか施設見学されました。社会福祉法人としての互いの取り組みを共有し、新たな発見を求めている。初日は、ライフ・ステージ夢咲の施設見学・情報交換会を開催。高齢者福祉や障がい福祉の現状と課題、今後の展望など意見交換。2日目はサンヒルズ紫豊館と岩戸ホーム見学。岩戸ホームでは高岡理事長から、50年前に福知山で始まった高齢者施設の歴史や地域と社会への貢献について説明されました。中村理事長からは「法人一貢献の活動を施設レベルで実践する姿勢に感銘を受けた」との感想が寄せられ、将来を見据えた地域貢献活動の重要性を再確認しました。

法人間交流 地域貢献の重要性を再確認

徳島・池田博愛会来訪

学生ボランティアとつくる 子どもの居場所

はにわキッチン@けやきの郷

子ども食堂

“子どもの居場所づくり”をテーマに高槻けやきの郷(高齢者施設)の「はにわキッチン@けやきの郷(子ども食堂)」が再開されました。コロナ禍による活動休止以来4年ぶり。地域貢献の試みの一つとして、子どもたちの元気な笑顔を支援していきます。

対象は近隣の高槻市立竹ノ内小学校の児童(全学年)で登録制、定員は15名。今回は4月14日=カレー(児童14名・学生ボランティア2名)▽5月12日=パーベキュー(児童15名・学生ボランティア5名)▽6月1日=ハンバーグ(児童12名・学生ボランティア5名)。参加児童からは「楽しかった!」「おいしかった!」と声があがり笑顔が広がりました。

今後とも地域とのつながりを大切に、賛同してくれた大学生ボランティア団体の協力も得ながら①スタッフ・学生ボランティア・児童で協働クッキング一緒に食べる②勉強タイム③学生ボランティア主催のレクリエーションタイムなどの活動を行っています。

災害時の乳児を守り 安全に保護者のもとへ

くるみ小規模保育園で訓練

くるみ小規模保育園(定員12名:0~2歳児)は5月12日、非常災害時引き渡し訓練・非常食提供訓練(震度5の地震、三大ライフライン停止想定)を行い、園児(11名)とその保護者が参加しました。



おやつにアルファ化米

子どもたちは保育スタッフの指示と助けて防災頭巾を被り、日常使用している食事時の敷きマットで全身を覆い落下物から身を守りました。子どもたちは3歳未満児ですが、日頃から保育スタッフと密な関係を築いており、不安がって泣くこともなく待機できました。この日はおやつ代わりに、備蓄用のアルファ化米(\*)に“ふりかけ”で食べ、15時から保護者到着順に子どもを引き渡すことができました。

(\*)アルファ化米 生米を炊き急乾燥、生でんぷんがアルファ化でんぷんになった状態のご飯で長期保存可能

育ててもらった故郷に還元したいと福祉の世界へ

学生時代に学んだ“相談援助”が入居者のために役立っている

—自分のどんな所が今の仕事に生きていますか?
“舞鶴市で生まれ、温かくゆったりした環境で育ててもらったこの地域に、少しでも還元していきたい!”という思いから大学で社会福祉学を専攻、実家に戻り現職場の短期入所生活介護で働いています。
先日、あるご利用者(短期)が「送ってもらえんやろか」「(家族に)泊まることを言うてないや。(自宅へ)送ってもらえんやろか」と不安な心情を打ち明けられた際、私の対応に「そんなら良かった(私の説明で理解できた)」と安堵の表情を見た時、大学で学んだこと(相談援助)や持ち前の穏やかさで自然に寄り添うことができたように感じました。一つひとつの関わ

向陽台高で「高齢者福祉」講義

進路相談の一助に

せつつ桜苑

せつつ桜苑の松田有里施設課長と中島義雄総務課長は3月6日、ハローワーク茨木の依頼で、私立向陽台高等学校(茨木市、通信制)で3年生(30名)を対象に高齢者福祉について講義しました。進路相談の一環で、地域福祉教育の一助にと考えます。
この日は三者面談で保護者も参加、事業内容が異なる4法人(事務・製造・販売・福祉)が事業の特徴などを説明。福祉関係では保護者から「(介護の)資格がなくても働けますか」といった質問も。「(成光苑には)資格取得支援制度があります。そのような制度がある企業・法人を選ぶと長く働けます」の回答にメモを取られる光景もみられました。

ベトナム人技能実習生が実習開始

サンヒルズ紫豊館(福知山市)、せつつ桜苑(摂津市)の両施設でベトナム人技能実習生が実習を開始しました。日本語教室で日本語スキルを高めながら、目標は介護福祉士国家資格試験合格を目指されます。
サンヒルズ紫豊館で3月16日から実習を始めたのは4期生3名(写真左)。ケア技術を懸命に学ばれています。せつつ桜苑では4月17日から1期生2名(写真右)が実習を開始。「外国から来て大変やな。頑張つてな」ご入居者の励ましを受けながら会話を試みる姿は必ず成長に繋がると思われます。

令和5年度研修報告(高齢者・障がい)

Table with 3 columns: 研修名, エリア等, 実施状況. Lists various training sessions from April to February.

令和6年度研修計画(高齢者部門・障がい部門)

多様な人材育成への対応ができるよう現状を踏まえ、「ファーストステージプログラム(第5版)」の全面的な見直しを行い、令和6年度より運用開始。また、育成指導のツールである成光苑介護マニュアル「はじめの第一歩」のうち介護技術の項目については、動画に移行が完了し、スタッフへの周知徹底を行う。

Table with 3 columns: 研修名, 対象者・期間, 目的・内容. Details training plans for various staff groups.

りを大切にしながら経験を積み重ね、自分のため、地域のために成長していきたいと考えています。

職場の良好な人間関係を感じる一体感や雰囲気になる施設はできる限り見学を

—学生の皆さんにメッセージを
介護分野は全くの未経験で入社しましたが、先輩スタッフが丁寧にサポートしてくださるのでとても心強いです。施設見学や夏祭りボランティアにも参加しましたが、イベントを盛り上げるための一体感や雰囲気から良好な職場の人間関係を感じました。就職説明会と施設見学では印象が変わることもあると思うので、気になる施設はできる限り見学に行くことよいと思います。働き始めてからでも学ぶことはできますが、学生時代にもいろいろチャレンジしておくといいと思います。

先輩からのメッセージ



真下 礼羽
ライフ・ステージ 舞夢
2024年度入社



竹下 花菜
認定こども園千里丘愛育園
2024年度入社

“保育園の先生になりたい!”が夢

愛育園の卒園児、5歳児クラスの担任がなんと同じ職場の片岡舞主幹保育教諭、幸せです

—自分のどんな所が今の仕事に生きていますか?
6歳下の弟の世話をするのが好きだったこともあり、小さい頃から“保育園の先生になりたい!”というのが夢でした。実は現職場の卒園児です。夏のお泊り保育から帰ってきた日に“お姉ちゃんになるんだよ”そう母から聞いた時のことを鮮明に覚えています。
当時、5歳児クラスで私の担任だった片岡舞主幹保育教諭と同じ職場で働いていることもとても幸せです。現在1歳児クラスの担任ですが、元気に登園する子どもたちと優しい笑顔と言葉で関わり、一人ひとりしっかりと向き合い成長をサポートしていきたいと考えています。

子どもの人格形成に童謡や音楽の伝承を

愛育園合同研修会に86名が参加

4年ぶりとなる愛育園合同研修会が3月26日、摂津市立コミュニティプラザで開かれ86名の保育関係スタッフが参加しました。
高岡園土理事長は冒頭、「10年後も地域で必要とされる園を念頭に、自園のオンリーワンとナンバーワンを意識して一丸となり取り組んでほしい」と激励されました。
研修では音楽プロデューサー・田中準子氏を招き「音楽の力・童謡の大切さ」をテーマにキーボードを使った実践演奏を交え音楽指導(写真)。同氏の「音楽を媒体とした人格形成」という方針に基づき、時代時代に作られる多くの童謡や音楽を伝承することの重要性を指摘されました。



スイミング研修「実践指導の自信となった」

愛育園グループ(北摂エリア)

北摂エリアの愛育園グループでは5月11日、千里丘スポーツプラザ(吹田市)のプールで同プラザ専属インストラクターを講師にスイミング研修を行い、11名の保育スタッフが参加しました。
子どもたちに対して適切な指導方法を身につけ、特に安全面などの基本的な指導を受け実践するのが目的。初参加者には人数確認の大切さやプールサイドなど全体が見える位置で子どもに背を向けないことを学び、経験者は、これまでの指導方法の疑問など個別アドバイスを受ける姿も見られ(写真)、「子どもへの実践指導に自信になった」などの声が寄せられました。



子どもの成長を間近で実感できる素敵な仕事「せんせい!」と慕われると元気が湧いてきます

—学生の皆さんにメッセージを
保育の仕事は子どもの成長を間近で実感できる素敵な仕事。苦手な食べ物を克服できたりとか、自力で着脱できるようになったりと日々が感動と驚きの連続です。子どもたちの笑顔や「せんせい!」と慕われることも嬉しくて元気が湧いてきます。社会人になることは責任も伴いますが、家族・友人・先輩の支えにも感謝しながら頑張っています。自分の得意なことをこの仕事に活かして一緒に頑張りましょう。

★★★片岡主幹保育教諭から(写真右)★★★

在園中(当時)、いつも元気一杯でしっかり者の“カナちゃん”と一緒に働くことになりとても嬉しいです。小さい頃と変わらない笑顔で子どもに寄り添う姿が頼もしい。これからも素敵な笑顔で頑張りましょうね!



KYTで事故を未然に防ぐ 保育基礎研修

新卒1年目と2~3年目(中途採用者含む)の保育スタッフ(18名)を対象にした保育基礎研修が4月13日、愛育会館(法人本部3F)で行われました。
講師陣は幹部候補の各園の副主幹保育教諭ら。保育理念に基づく先輩スタッフの体験談を動画視聴、また救命救急や嘔吐処理の疑似体験も(写真)。「こんな対応方法もあるんですね」と真剣に耳を傾ける受講スタッフ。安全管理では「KYT」(\*)を通じて事故を未然に防ぐことの大切さを学びました。



(\*)KYT 危険(Kiken)・予知(Yochi)・トレーニング(Training)の頭文字を取った語。危険に対する感受性を高め安全性を先取りする能力やチームワーク、集中力決能力などを養う訓練

令和6年度研修計画(保育部門)

次世代の育成にも焦点をおき、幹部職層・中堅層を中心とした研修の実施等、育成体制の整備のため、新たに外部委託化して組織マネジメントをテーマにした研修会を実施。単発の研修会ではなく、5年を見据えてのテーマ設定として取り組んでいく。
また、内部では、新たに小集団保育も含めた公開保育等を実施し、法人内での各園の交流の場を育成につなげる研修会を設定している。

Table with 3 columns: 研修名, 対象者・回数, 内容. Details training plans for childcare staff.

令和5年度研修報告(保育)

Table with 3 columns: 研修名, 参加者, 実施状況. Lists training sessions for childcare staff.

## 保育園見学バスツアーに協力

認定こども園 一津屋愛育園

大阪人間科学大学(摂津市)で保育者を目指す3、4年生(15名)が5月16日、認定こども園一津屋愛育園を見学されました。令和6年度摂津市保育園・認定こども園見学バスツアー(摂津市・摂津市保育連盟・大阪人間科学大学 共同)に協力参加し、受け入れたものです。学生が授業の一環として希望する摂津市内の複数の園を巡るバスツアーで、令和3年度から実施されています。



同園では見学とオリジナルPR動画で姉妹園も紹介。特に4年生(卒業年次生)には就職先の候補にもなることから「残業はありますか」「給料はどれくらいですか」「人間関係は?」など率直な質問も飛び交いました。

## 3歳児と高齢者の世代間交流

### 折り紙作って「にぎにぎの会」

認定こども園 きりん愛育園

認定こども園きりん愛育園は5月2日、地域の高齢者(3名)を迎え3歳児クラスの子どもたち(11名)と世代間交流「にぎにぎの会」を開きました。



やや緊張気味の子どもたちも「幸せなら手をたたこう」の歌に合わせた「ふれあい遊び」ではすっかり打ち解けた様子。子どもたちにはちょっと苦手な折り紙も、「ここはこうだよ。上手だねー」と高齢者から教えてもらい、お花を完成させ大喜び。給食も一緒にいただき会話がはずむひとときでした。

## 「ふれあいサロン」に参加

認定こども園 正雀愛育園

認定こども園正雀愛育園の5歳児クラス(16名)は5月10日、地域福祉活動拠点「デイハウスました」(摂津市社会福祉協議会管轄)で「ふれあいサロン」(\*)に参加、地域の高齢者と世代間交流を行いました。

子どもたちは高齢者を前に「こいのぼり」「春の小川」など季節の歌を堂々と披露。また、手遊びを交えて高齢者の膝や肩をトントン。「かわいいねー」と声を掛けられ抱き合ったりと、微笑ましい光景も。このような機会を大切に労わりの心を育てていきたいと考えています。

(\*)ふれあいサロン 摂津市社会福祉協議会による「小地域ネットワーク活動」の一つ。福祉委員やボランティアなど近隣住民が「みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、要援護者とふれあう場



## 季節の歌堂々

- 【保育室、園庭、絵本室等の開放】
- 【一人暮らし高齢者宅の訪問】
- 【被虐待児童への関係機関との連携】
- 【近隣の小学校との異文化交流】

## 令和5年度地域貢献活動報告

- 【リハビリ機器の地域への開放】
- 【認知症あんしんサポート相談窓口】
- 【在日外国人スタッフへの日本語勉強会】
- 【能登半島地震へのスタッフ派遣】

高齢者・障がい部門	保育部門 ※一部、児童発達支援含む
【地域に焦点を当てた事業展開】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通弱者の移動支援の取り組み(過疎地域有償運送)の運行(4往復/日) 延べ利用者数:1745名(前年度比約550名増)(内、地域利用1156名:前年度比約490名増)</li> <li>・福祉有償運送(移動困難者に対して安価での移動支援)の運行</li> <li>・地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施(夏祭り・花火大会・イルミネーション等)</li> <li>・リハビリ機器の地域への開放(感染対策を講じて再開)</li> <li>・地域交流スペースの喫茶は感染対策を講じて開放</li> <li>・エリア別での地域ニーズ調査委員会の継続的な開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子教室での年齢に応じた遊びの提供(製作、リズム、絵本の読み聞かせ等)</li> <li>・各園の保育室、園庭、絵本室等の開放、絵本の貸出</li> <li>・園の季節の行事への招待及び地域の親子を対象とした独自のイベント開催</li> <li>・赤ちゃんの駅(おむつ替えや授乳ができる施設)の登録</li> <li>・妊産婦への支援</li> </ul>
【地域における福祉推進】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知</li> <li>・認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設</li> <li>・相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施</li> <li>・民生委員等との連携(交流勉強会への参加等)</li> <li>・介護職員初任者研修事業の講師派遣(京都)</li> <li>・外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣</li> <li>・農閑期の閉じこもり防止を目的としたサロン活動の実施</li> <li>・高齢者のボランティア支援とボランティア担当者のレベルアップ</li> <li>・認知症サポーターキッズ養成講座の開講</li> <li>・「小中学生対象・次世代の担い手育成事業」や小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入</li> <li>・子どもを守る110番運動への参画</li> <li>・介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入</li> <li>・子ども食堂ネットワーク会議等への参加(子ども食堂の実施はコロナ禍のため中止)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの健康やふれあい遊び、絵本に関する情報を掲載した通信を自主作成し無料配布</li> <li>・コロナ禍でも育児に係る情報(育児に係る悩みへの対応、手作り玩具等)を家庭でも知ることができるようYouTubeで発信及びホームページへのアップ(全部門が参画)</li> <li>・育児相談員およびスマイルサポーター(大阪府知事認定)による育児相談窓口の設置(来所・電話等)</li> <li>・保育士等による専門性を活かした講座の開催</li> <li>・地域の子育て支援担当者間の情報交換会への参画</li> <li>・公民館を利用した地域での制作活動</li> <li>・一人暮らし高齢者宅の訪問(七夕飾り等の宅配)</li> <li>・保育士養成校からの保育士養成実習の受入</li> <li>・近隣の高齢者を招待した行事の開催</li> </ul>
【社会的援護を要する人々への支援】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受入(実績は1名:合計5日間)</li> <li>・協力雇用主制度による刑務所出所者の雇用に向け協力雇用主として登録(実績は0名)</li> <li>・高齢者世帯及び生活困窮母子家庭世帯への配食サービス及び安否確認</li> <li>・火災で自宅消失の高齢者の緊急受入(サポートハウス)</li> <li>・社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業、通所サービスの食費負担軽減の実施</li> <li>・地域の高齢者からの通報への対応(24時間365日)</li> <li>・日本財団「夢の貯金箱」(自動販売機の飲料売り上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のうち10円を寄付)の全施設設置</li> <li>・大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出及び大阪全施設にCSWを配置。</li> <li>・京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画(基金への拠出等)</li> <li>・障がい者職場体験実習の受入及び雇用の促進(新規2名雇用)</li> <li>・市主催のフードバンク支援への参画</li> <li>・住居確保要配慮者への支援として吹田市居住支援協議会への参画と居住支援法人としての活動</li> <li>・地域の生活保護受給者への初任者研修費用の貸付や物価高騰に係る助成金の手続き支援</li> </ul>
【国際交流】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会(つぼみの会)等の実施</li> <li>・地域の在日外国人(フィリピン)の雇用及び住居の整備等</li> <li>・外国人人材の資格取得支援対策講座の開講</li> <li>・在日外国人への各種資格取得や交付金の申請に係る手続きの支援・代行</li> <li>・グローバル介護職員初任者研修の開催</li> <li>・介護技能実習生、特定技能のスタッフの受け入れにあたる関連機関との連携強化等</li> <li>・国際経済における人的交流の研究協力(龍谷大学、フィリピン大学、エジンバラ大学等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多国籍の子ども・保護者とのコミュニケーション支援</li> <li>・近隣の小学校との異文化交流</li> </ul>
【地域団体などとの連携の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の福祉推進協議会や施設・事業者連絡協議会等への参加による地域連携強化・スタッフ派遣</li> <li>・地区の福祉推進協議会や地域貢献委員会等への参画</li> <li>・自治会活動へのスタッフ派遣</li> <li>・地域のイベントへの参画(作品展への出展等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携(イベント等はコロナのため中止)</li> <li>・中学校区における地域教育協議会への参画</li> </ul>
【災害支援・環境対策】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会等地域との防災協定の締結(総合防災訓練はコロナのため中止)</li> <li>・FM舞鶴と提携し、送受信設備の施設敷地内の設置及び災害発生時の被害情報提供体制の確立(対象事例無し)</li> <li>・5法人間での防災協定の締結</li> <li>・地域の福祉避難所としての指定、防災倉庫の設置等災害発生時のネットワークの構築</li> <li>・大阪府・京都府災害派遣福祉チーム員(DWAT)への新規登録(1名)及び能登半島地震被災地への派遣(京都3名、大阪2名)</li> <li>・能登半島地震1.5次避難所及び被災した施設へのスタッフ派遣</li> <li>・感染症発生時における職員の相互応援に関する協定に係る派遣職員候補者の登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5法人間での防災協定の締結</li> <li>・近隣の草抜き・清掃活動への参加</li> <li>・牛乳パック、ベルマーク、エコキャップ運動の実施</li> <li>・グリーンカーテンの栽培</li> <li>・全園における節電活動</li> <li>・エコ育の更なる充実</li> <li>・日本赤十字共同募金への募金</li> </ul>
【独自の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府高齢者あんしんサポートハウス(低所得者に対応した家賃設定)の運営</li> <li>・外国人介護人材発掘のための関連機関との検討会等の実施</li> <li>・地元企業(大江山食品、谷牧場、小林ふあーむ)と協働活動</li> </ul>	

## 「Bee福(ビーフク)連携」

### 地域活性化にひと役

岩戸ホーム

成光苑では農福連携プロジェクト「かがやき農園」(11ページに記事)を展開中ですが、岩戸ホーム(福知山市)ではさらに「商業と福祉の連携」に乗り出し、2月からブランド牛牧場と高齢者施設をつなぐ「Bee福(ビーフク)連携」(\*)をスタートさせました。地元根付いた「奥丹波みたけ牛」を生産する「奥丹波みたけ牛 谷牧場」とのコラボレーションです。

同施設敷地内にある「いこい庵」(ご入居者家族の宿泊設備を完備した多目的施設)の前で、毎月第2木曜(15:00~18:30)に特設販売。各種精肉をはじめサンドイッチ、コロッケなどの総菜類も豊富(写真)、お値打ち価格で販売しご入居者、スタッフ、地域住民の方も買い求められています。ご入居者には食事のサービスメニューが



増え(選択肢が広がる)好都合。地域の活性化にもつながると期待しています。

(\*)Bee福(ビーフク)連携 beef(牛肉)と福祉の語呂合わせて成光苑内での造語

## 奥丹波ブランド牛牧場の精肉など特設販売

## 地域サロンに参加し認知症予防など企画

サンヒルズ紫豊館

サンヒルズ紫豊館(福知山市)のケアスタッフは、地域の公会堂で実施されているサロンに参加しています。

▽5月28日、いきいきサロン「ほほえみ(奥榎原地域)」(月1回):4年ぶりの再開、12名の地域住民が参加され、同スタッフが体操(写真)やグランドゴルフゲームを企画して盛り上げました。▽6月5日、いきいきサロン「ひまわり(口榎原地域)」(月3回):10名が参加され、認知症予防スリーA教室(\*)や貯筋体操(座りながらの体操)を行いました。

同スタッフは気軽に相談に応じられるよう日頃から地域と関係を深めています。



(\*)認知症予防スリーA 「あかるく」「あたまを使って」「あきらめない」をモットーに脳活性化ゲームなど楽しむ認知症予防プログラム

## 人気の独自ブランド「PARACOCO」

ココリス(障がい福祉サービス)は5月19日、三島公園(摂津市)で開催された「みしまつり」(主催:三島自治会・みしまつり実行委員会)に独自ブランド商品「PARACOCO」を昨年に続き出店販売しました。



当日はあいにくの雨でしたが、来場者に他の出店者も加わり多くの方がオリジナルのパラシュートコード製商品(プレスレットなど)を買い求められ、地域の方とコミュニケーションを図るなど交流を深めることができました。

## 地元のまつりに出店販売

## 令和6年度 事業計画 時代の変化に対応するニーズを先取りし、子ども、高齢者、障がい者(児)の可能性を伸ばす福祉サービスを展開、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に寄与していく

### 1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 1.財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)**
  - 経営企画会議・園長検討会の運営による法人の各部門の経営状況に応じた対策及び財務状況の安定を図るための経営分析の実施
  - 会計監査人や行政などの法定監査受審による適正かつ継続的な改善を担保するコンプライアンスの組織の維持・強化
- 2.人事・給与管理体制等の強化**
  - 各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
  - 高齢者・障がい部門施設長評価の実施(継続)及び保育部門の園長に対する園長評価の実施
- 3.ICT化・DX化の促進**
  - 全部門におけるICT化の推進のためのハード面の充実(タブレット等の追加購入等)として、高齢者・障がい部門における介護ロボット機器やセンサー等の導入、ケアプランデータ連携システム等の導入の促進、保育部門におけるコモンのさらなる活用
  - 電子帳簿保存法・インボイス制度施行への対応による経理DXの取組みのさらなる推進
- 4.事業の継続に向けた体制整備**
  - 高齢・障がい部門におけるBCP(業務継続計画)の策定を機に、災害・感染症等

の緊急時でも平常時対応が可能な業務の追求。保育部門においても努力義務化されたことに伴い、BCPの新規作成を進める

- ・公的助成制度を有効に活用した効果的・効率的な事業展開により即時対応することで、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図る

#### 5.適正な情報開示による経営の透明性の確保

- ・ホームページ、広報誌、WAM等による情報の適正開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況、第三者評価受審結果等)

#### 6.法人本部体制の強化

- ・社会福祉法に則り、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」について、法人本部として持続可能な体制整備(保育・高齢・障がい部門)を図りながら取り組む。このことにより、子どもから高齢・障がい者・児を含む全ての世代の地域の人々に対する社会福祉事業を展開する主たる担い手としての役割(説明責任)を果たせるよう、地域共生社会の一員として地域貢献できる法人の在り方を追求する

### 2. 福祉サービスの質の向上に向けた活動

- 1.法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」第2版の全職員への周知)**
  - 「和顔愛語」(第2版)の利活用により、すべてのスタッフに対し法人内全部門の経営方針を周知徹底し、部門間の連携強化と、法人理念等の浸透度、実践度の測定(全部門実施)
- 2.地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開**
  - 個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供するとともに、さらなるサービスの質の向上を常に念頭に置いた事業の展開
  - 時代により変化するニーズを先取りし、その人(子ども、高齢者、障がい者・児)の可能性を伸ばす福祉サービスを展開する
  - 各園・施設の現状に応じた福祉サービスの質の向上に向けた活動が継続できるよう計画の策定・進捗状況等の確認を実施
- 3.研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より最新で専門性の高いサービス展開を追求**
- 4.サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備**
  - ・外部・内部監査における受審状況及び評価結果の確認と結果に基づく改善計画等の作成
- 5.緊急時・非常災害時の組織体制整備【重点】**
  - ・災害・感染症等の非常事態を想定したBCPの実践・進捗管理ができる組織体制の整備充実
  - ・感染症拡大防止対策マニュアルの内容点検(緊急時の人員等体制や備蓄品等の整備)と周知

### 3. 人財確保と育成・定着

- 1.人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた諸規程を改定等整備し、労働環境改善のための活動を助長することにより人財の確保・育成・定着につなげる**
  - ・資格取得支援等、新たな支援体制の運営や福利厚生の実施に向けた検討
  - ・令和7年4月から65歳までの雇用確保が義務化となることに向けての検討
  - ・障がい者雇用率の段階的な引き上げに応じた障がい者雇用の促進及び就労環境の整備
- 2.法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる**
  - ・人財確保に有効なホームページ・SNS・パンフレット等の充実等
- 3.優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み**
  - ・実習生の受入れ体制の充実(受入れ期間中が法人(園・施設)のアピールの絶好の機会)
  - ・実習生に対するアンケート調査の実施や実習元の学校等関係者との連携充実
- 4.各種関係機関との関係構築**
  - ・採用につながる関係構築を目的とした学校訪問と各種就職フェアへの参加
  - ・施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
- 5.次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化**
  - ・各部門における幹部職層を対象とした幹部を対象とした研修の企画
- 6.研修・育成体制の強化及び整備**
  - ・保育部門における外部委託(日本保育チームマネジメント協会)による継続的なマネジメント・組織体制の構築
  - ・高齢者・障がい部門の多様な人財育成への対応ができるよう現状を踏まえ、「ファーストステージプログラム(第5版)」の全面的な見直しを行い、令和6年度より運用開始。介護技術のマニュアルについて動画に移行した「はじめの第一歩」の運用開始
- 7.外国人労働者の受入・教育体制の整備**
  - ・介護技能実習制度の発展的解消から育成就労制度への対応の検討及び在留資格「特定技能(介護)」による外国人人財の受け入れに当たる体制整備(対象としてベトナム・フィリピン・中国・インドネシア人の受入)
  - ・グローバル人財プロジェクトを中心に、各受入施設において担当者を配置し、外国人スタッフの将来の幹部候補を念頭に置いた研修体制、キャリアパスの構築(フィリピン人を中心とした外国人リーダーの育成等)
  - ・介護福祉士の養成確保のための修学資金にかかる法人連帯保証(大阪府社会福祉協議会)の継続

### 4. 法人の特性を踏まえた取り組み

社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる充実・展開を図る

- 1.地域の福祉ニーズへの対応**
  - ・全園・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開
- 2.各部門の種別を超えた連携による総合相談窓口設置**
  - ・全園・全施設における地域の総合相談事業の展開
  - ・高齢者・障がい部門全施設における潜在顧客調査委員会による地域ニーズの把握
- 3.災害発生時の継続的な支援が可能となる体制の構築**
  - ・福祉避難所の整備と物資の備蓄等を踏まえたBCPの高齢者・障がい部門全施設で策定、PDCAサイクルで進捗管理
  - ・災害派遣福祉チーム(DWAT)の新規養成等による増員とスタッフ派遣
  - ・スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動の推進

能登半島地震被災地支援の取組みとして、義援金及びDWAT・介護職員等の派遣等の協力

#### 4.社会的援護を必要とする人々への支援

- ・生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への提出  
大阪:「大阪しあわせネットワーク」/京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
- ・生活困窮者自立支援法に基づく各施設での支援体制の整備等(中間的就労等の受入等)
- ・協力雇用主制度に登録し、保護司と連携した刑務所出所者の雇用
- ・居住支援法人としての活動の展開
- ・孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム(内閣官房)への登録、実践及び事例報告等

## 令和5年度 事業報告 高齢・障がい部門ではBCP(業務継続計画)の策定が完了(保育部門は策定の努力義務化を周知)、災害・感染症など有事を想定しつつ、ご利用者サービスの在り方についてさらなる検討を進めた1年

### 1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 1.財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)**
  - ・園長検討会(年6回)・経営企画会議の運営(年6回)において、物価高騰等が続く中での対応を継続しながら取得できる加算及び公的助成制度の積極的活用の精査検討に努めた。
- 2.人事・給与管理体制等の強化**
  - ・各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
  - ・高齢者部門施設長評価及び状況に応じた保育部門における園長に対する理事長面談の実施
- 3.業務の効率化に向けた体制の検討**
  - ・各部門におけるICT化の推進による業務の効率化
  - 高齢・障がい部門…訪問介護支援ソフト(ケアバレット)・全館対応WiFi設備・インカム・離床センサー・PHSを各部署に設置等(一部、補助金を活用)
  - 保育部門…コモンの活用
  - ・電子帳簿保存法施行に伴いソフト(invox)を導入し、一部請求業務等で活用
- 4.事業の継続に向けた体制整備**
  - ・高齢・障がい部門全施設におけるBCP(業務継続計画)の策定が完了。災害・感染症等の緊急時でも平常時対応が可能な業務の追求
  - ・保育部門におけるBCPの新規作成に向けたガイドライン等の情報収集を実施

#### 5.適正な情報開示による経営の透明性の確保

- ・ホームページ及び法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)における法人情報の公開
- ・第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
- ・福祉医療機構「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を利用した情報開示等

#### 6.新規事業及び・効率的な経営のための事業変更等

- ・千里丘愛育園の分園との合併及び認定こども園への移行し、定員を225名に増員
- ・津屋愛育園に隣接する土地の取得に向けた摂津市及びダイキン(株)との継続的な協議し、令和6年度に取得予定(津屋愛育園の園庭拡張、第二コリスの開設等)
- ・せつつ桜苑訪問介護事業所ときりんヘルバーステーションとの統合(令和5年4月～)
- ・せつつ桜苑における老人福祉センターの改修工事による多世代交流スペースの確保(令和6年秋頃工事完了予定)

#### 7.高齢者・障がい部門における経営品質向上活動の展開

- ・日本経営品質賞の「顧客価値経営ガイドライン」に基づいた成光苑の「ありがたい姿」について再検討し、次年度の申請に向け、これまでの活動を整理しながら、文書化する作業を進めた

#### 8.ライフ・ステージ夢咲におけるISO9001システムのキックオフ

- ・ライフ・ステージ 夢咲におけるISO9001システムのキックオフ(令和5年8月)。内部監査を年2回実施し、令和6年5月認証資格取得

### 2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- 1.法人理念等の周知の徹底及び冊子化した「和顔愛語」第2版の全職員への周知**
  - ・和顔愛語第2版に基づく浸透度、実践度の測定を全部門において実施(保育部門を新規追加)
- 2.地域の福祉ニーズ及び個々の心身状態に対応したサービスの提供**
  - ・保育部門におけるオムツのサブスクの導入(次年度よりトイレプランの新規追加)
- 3.研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より専門性の高いサービス展開を追求する**
- 4.サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備**
  - ・保育部門大阪市内3園が第三者評価受審
- 5.緊急時・非常災害時の組織体制整備**
  - ・防犯や非常災害時を想定した業務継続計画(BCP)の策定に向けた策定の進捗管理(高齢者・障がい部門)と、保育施設における次年度以降の策定努力義務化の周知
  - ・各施設における新型コロナウイルス感染拡大防止対策マニュアルの作成及び人員等体制の充実

### 3. 人財確保と育成・定着

○採用者数(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の新卒者等の正規採用者

	四大卒	短大・専門卒	高卒	一般	合計
保育部門	4	2	0	1	7
高齢者・障がい部門	3	3	1	12	19
合計	7	5	1	13	26

#### 1.処遇・労働環境改善の取組

- ・無資格者の人財確保のための資格取得支援制度(受講費用の貸付制度)などを運用開始
- ・障がい者雇用の促進及び就労環境の整備(新規採用者2名、職場体験実習2名受入。資格取得支援貸付金対象者として実務研修を2名受講)
- ・部門別に離職率(中途採用者反映方式)を算出…高齢・障がい部門:11.5% 保育部門:15.1%

#### 2.法人として求人活動内容全般の見直し

- ・人財確保に有効なホームページ・SNS・パンフレット等を活用した求人活動(Instagramの導入、採用PR動画の作成、ZOOM等を利用した説明会の実施)
- ・各種関係機関との関係構築、就職フェアへの参加

#### 3.優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組みの充実

### 4. 法人の特性を踏まえた取り組み

コロナ禍においても、社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる充実・展開を図った

- 1.地域の福祉ニーズへの対応**
  - ・全園・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開
  - ・地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
  - ・生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への提出  
大阪:「大阪しあわせネットワーク」/京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」

- ・実習生アンケートの実施や学校関係者への訪問等の強化

#### 4.次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化

- ・幹部を対象とした研修会の実施(保育部門の幹部研修、ネクストステージ研修等)
- ・人財育成PJにおける多様な人財育成への対応可能な「ファーストステージプログラム」の第5版への全面的な見直し(令和6年度運用開始)

#### 5.高齢者・障がい部門における外国人労働者の受入・育成体制の整備

- ・グローバル人財PJを編成し、京都・大阪エリア合同で外国人スタッフの交流会(テーマ設定をした発表会)を実施(10月)

エリア	種別	人数	国籍	エリア	種別	人数	国籍
大阪	特定技能	2名	ベトナム	京都	技能実習生	8名	ベトナム
	特定技能	1名	中国		技能実習生	1名	インドネシア
	技能実習生	0名	—		特定技能	2名	ベトナム
	留学生	1名	ベトナム		特定技能	10名	フィリピン
	正規雇用	2名	ベトナム		正規雇用	2名	ベトナム
	非常勤雇用	0名	—		非常勤	1名	フィリピン

#### 6.高齢者部門における研究発表会(第18回)の開催(オンライン)

- ・スタッフのモチベーションアップと他法人との交流を目的として7法人が参加しての開催(ハイブリット型として実施)

- ・地域の社会的援護を要する人々への支援

- ・中間的就労の受入、協力雇用主の登録の継続、居住支援法人としての活動、孤独・孤立官民連携プラットフォームへの新規登録及び実践報告

#### 2.災害・感染症発生時の継続的な支援が可能となる体制

- ・能登半島地震への義援金及びスタッフ派遣

#### 3.各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開

- ・保育・高齢者・障がい各部門の種別を超えた連携による地域の相談窓口機能の強化

# 苗植え・種まき、収穫の知らせ続々

## 子どもたちと高齢者をつなぐ

かがやき農園プロジェクト

成光苑京都エリア(福知山市)で展開中の「かがやき農園プロジェクト」では、認定こども園正雀愛育園の在園児、認定こども園一津屋愛育園の卒園児(今春卒園)らが相次

いで苗植えや収穫に取り組み、それぞれにグループの高齢者施設のご利用者らが参加、世代間交流の場ともなりました。

### 5歳児がさつまいもの苗植え「収穫まで元気でおうと」と高齢者



認定こども園正雀愛育園

認定こども園正雀愛育園(摂津市)の5歳児(32名)は5月31日、同市野笹地区の畑で、あっとホームらく楽(福知山市:小規模多機能型居宅介護)のご利用者2名、サンヒルズ紫豊館(同:ケアハウス)のご入居者3名が加わり、さつまいもの苗植

え協働農作業を行いました。あいにくの小雨交じりでしたが、「(秋の)収穫まで元気でおうと」と高齢者のみなさんは楽しみが尽きない様子でした。

### 「おっき(大きく)なるとー」卒園児ら玉ねぎ約600個の大収穫



認定こども園一津屋愛育園

翌6月1日には、認定こども園一津屋愛育園(摂津市)の卒園児29名が、在園中の昨年11月、同地区に植えた玉ねぎを収穫。「おっき(大きく)なるとー」と歓声。岩戸ホーム(特養:4名、サポートハウス:3名)のご入居者と一

緒に約600個の大収穫。夢中の子どもたちを見守る高齢者からは「元気が出たわー」の声も聞かれました。

### 収穫の玉ねぎ50人分のカレーに

吹田竜ヶ池ホーム



吹田竜ヶ池ホームでは昨秋植えた玉ねぎの苗(50本)が収穫時期を迎えたため、5月7、14の両日、総務スタッフがその玉ねぎを使って約50人分の手作りカレーに仕上げ、昼食時に出勤中のスタッフに振る舞いました。自分たちが育てただけに味わいも格別だったようです。

同施設ではさらに3月に入り、玉ねぎ栽培地に近いスペースを整地、土壌改良して畑に転用、現在はメロン・ミニトマトなど10種類以上の果物・野菜を手掛けています(写真)。

## 快適空間の家族面会室を増築

### 施設内に「自治会」「ゆめさきドリーム」発足

#### ご入居者本意の主体性を重視

ライフ・ステージ 夢咲

ライフ・ステージ 夢咲(舞鶴市)では5月29日、グループホーム(20名定員)のご入居者12名(就労により8名欠席)とスタッフ9名が話し合い、施設内「自治会」を発足させました。名称は「ゆめさきドリーム」。ご入居者が考えられた多くの案から決まりました。

ご入居者からスタッフへのご要望が多岐に渡るようになってきたため、ご入居者本意の主体性を重視することを丁寧に説明し自治会設立を提案、考えが一致しました。個々のご入居者は担当スタッフと今年の目標を発表、「自分の部屋を毎日掃除する」「リハビリを頑張る」などと述べられたほか、毎月食べたい料理を作る「お楽しみ昼食会」の実施も決まり、メニュー選定にも余念なく6月はさっそく中華料理に。今後も地域住民との交流の機会を模索し「ゆめさきドリーム」の活動を広げられるよう支援したいと考えています。

ライフ・ステージ 舞夢



### 来年は小学校で仲良くネ

くるみ愛育園の5歳児は5月8日、姉妹園の東生野愛育園を訪問、同じ年齢の5歳児クラスと「あそぼう会」を初めて行いました。両園は直線距離で約500メートルと近く、小学校へ進学すると一緒に学ぼうとたくさんいます。当日、園庭に足

を踏み入れると、ふだんと違いたいへんおとなしかったのですが、一緒に体操や行進を行ううちに緊張もほぐれドッジボールがスタート(写真)。穏やかなボールのやり取りから激しい攻防戦になってすつかり打ち分け、大歓声が響き渡りました。



姉妹園の5歳児同士が「あそぼう会」

くるみ愛育園・東生野愛育園

## 令和5年度 決算報告

### 【資金収支計算書】

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	125	1,469	3,977	176	△6	5,741
	支出	41	1,295	3,624	131	△6	5,085
事業活動資金収支差額	83	174	354	45	0	656	
施設整備等収支	収入	0	0	24	1	0	25
	支出	0	27	202	41	0	270
施設整備等資金収支差額	0	△27	△178	△39	0	△245	
その他の活動収支	収入	117	13	57	8	△152	43
	支出	0	144	176	19	△152	187
その他の活動資金収支差額	117	△132	△119	△11	0	△144	
当期資金収支差額合計	200	15	58	△6	0	267	
前期末支払資金残高	458	210	1,557	59	0	2,284	
当期末支払資金残高	658	225	1,615	53	0	2,550	

(保育は認定こども園を含む)

### 【事業活動収支計算書】

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計	
サービス活動収支	収益	1	1,447	3,952	162	0	5,562
	費用	39	1,319	3,867	159	△9	5,375
サービス活動増減差額	△38	128	85	3	9	187	
サービス活動外収支	収益	125	23	32	13	△9	184
	費用	1	21	22	4	0	48
サービス活動外収支差額	124	2	10	9	△9	136	
経常増減差額	86	130	95	12	0	323	
特別収支	収益	112	7	58	1	△151	27
	費用	0	13	154	11	△151	27
特別増減差額	112	△7	△96	△10	0	△0	
当期活動増減差額合計	198	123	0	2	0	323	
前期繰越活動収支差額	631	841	4,308	53	0	5,832	
その他の積立金取崩額	0	0	0	0	0	0	
その他の積立金積立額	0	125	20	0	0	145	
次期繰越活動収支差額	829	839	4,288	54	0	6,010	

(保育は認定こども園を含む)

### 【貸借対照表】 成光苑全施設(社会福祉事業・公益事業・収益事業) 令和6年3月31日現在 単位:百万円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	2,963	流動負債	730
固定資産(基本財産)	6,650	うち1年以内借入金・賞与引当金	317
その他の固定資産	3,559	固定負債	2,061
		負債合計	2,791
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,497
		その他の積立金	1,265
		次期繰越活動収支差額	6,010
資産合計	13,172	純資産合計	13,172

## 令和6年度 資金収支予算

### 【資金収支計算書】

成光苑全施設(社会福祉事業・公益事業・収益事業) 単位:百万円

勘定科目	本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	8	1,440	4,173	172	△5	5,788
	支出	32	1,281	3,796	117	△5	5,221
事業活動資金収支差額	△24	159	377	55	0	566	
施設整備等収支	収入	0	0	115	0	0	115
	支出	1	25	289	42	0	357
施設整備等資金収支差額	△1	△25	△175	△42	0	△242	
その他の活動収支	収入	122	0	30	7	△138	21
	支出	0	15	154	12	△138	43
その他の活動資金収支差額	122	△15	△124	△5	0	△22	
予備費	0	120	0	0	0	120	
当期資金収支差額合計	98	0	77	8	0	182	
前期末支払資金残高	631	220	1,614	51	0	2,516	
当期末支払資金残高	729	220	1,691	59	0	2,699	

(保育園は認定こども園を含む)